

家主の会代表の

2013年の活動・展望

日本全国、毎週どこかでオーナーたちが集まって勉強会を開いている。勉強熱心な会員たちを束ねるのが「家主の会」の代表者たちだ。各会の活動方針と2013年に目指す会の方向性について、どのように考えているのか。各地域を代表する家主の会のトップ24人に抱負を語ってもらった。

ジャルマ

今年で発足32年目に突入、会員100名を目指す

現在、会員は85名です。今年は100名を目指します。ただし、それ以上になると、会場手配や会員の管理など運営面で大変になってくるので切りのいい100名を上限にしたいと考えています。

月に一度の月例会のほかに、今年は、ミニ勉強会を開催したいと考えています。会員の中でも、スキルを持っている方と初心者の方とでレベルに差があるので、知識を補っていくために実施する予定です。昨年は、会員20名で、福岡で開催されたリノベーション文化祭に参加しました。同じ福岡にオープンしたスタジ

オアパルトメントの視察も行いました。こういった新しい動きを実際に目で見る機会をこれからもつくっていききたいですね。

他の会との交流も視野を広げるために大事です。私自身も会員もほかの会に参加することがよくあります。会の中だけで完結するのではなく会と会で共同の企画などできたらいいと思っています。



杉本辰弥
代表 (63)
(東京都文京区)